18.09.27 第3回住環境・コミュニティ部会提示資料 18.10.31 第5会検討会議提示資料

### これまでのみなさんの意見にもとづいた、このまちの「大切な目線」

- できることから「段階的」に。
- 「地域住民」と「これから来る住民」のくらし第一。
- ❸ 基本は「コミュニティ」。多様な人を受入れ・サポート。
- 取組みは「地域(住民・団体)」「市」「民間事業者」等の「協働型」で。
- ⑤ 次世代の子ども・若者を地域一丸で呼込み・育て・交流。

#### 取組みの方向性

高齢者等 若者・子育で 市営住宅

コミュニティ

月の前のこと

- ○建替待ち団地、孤立・引きこもり高齢者への対応
- ○子ども・親の居場所づくり
- ○老朽化対応 ○若い世帯が入居できる住まい
- ○地域の取組み・活動の輪の拡大、ネットワーク化

■具体化するプロジェクトの一案<sup>®</sup>

中長期的なこと

- ○高齢者が安心して暮らせる住宅・施設
- ○学校教育と連動した地域教育 ○民間住宅の誘導
- ○市営住宅・公共施設の再編、生活利便施設の導入
- ○地域外や新住民との交流強化
  - ○次世代の人材育成

## 取組案1 市営住宅の改修 + 若者・子育て世帯を呼込み・サポート

- \* 市営住宅の空き家改修(若者入居)
- \* 空きスペースの活用(居場所づくり)
- \*地域活動(子育でサポート・多世代交流)

若者・子育て世帯を地域で受入・応援!



市(改修・ルール変更等)+地域(利用・サポート活動)みんなで協力(成功体験を!)

# ●市営住宅空き家改修 (若者入居)



②空きスペース活用 (居場所づくり)

❸地域活動 ●(子育てサポート・多世代交流)









### 【役割分担のイメージ】

: 4空き住戸の改修、ルール変更(4中堅層が入れる、2集会所利用)、2交流空間(デッキ・仮設施設等)※ ●市 の整備による、みんなが立寄る空間の整備等 ※民間事業者等の活用も検討

●地域 : 地域で運営委員会をつくって、②交流空間の利用ルールづくり、③子どもや子育て世帯、福祉の相談の場、多 世代交流事業・活動(子育てママの交流プログラム、食育活動、学習支援、遊び場づくり、朝市等のイベント、 お店運営など)の展開 等

## 取組案2 多世代が住む・交流する拠点

- \*多世代住宅(市営 + 民間)
- \*子育て・福祉・交流等の複合施設 をまちの中心に!

自然に集まる場を

\*公園・安全な歩行者空間

まとまった空間のある和泉第一が候補



公営住宅+民間住宅で多世代が住むまちのイメージ(他市事例)



注:上記2つは代表的な案であり、これだけに限ったものではありません。